



地域(亀山市)と連携の取れた三重県づくり  
**三重県議会議員 長田たかひさ** 県政レポート  
 2017年10月 No.35



事務所 〒519-0124 亀山市東御幸町233-2  
 TEL 0595-82-8700 FAX 0595-82-8775  
 ホームページ <http://www.enjoy-nagata.jp/>

所属委員会等 ●総務地域連携常任委員会 委員(総務部、地域連携部、選挙管理委員会、収用委員会の所管及びこれに関連すること)  
 ●予算決算常任委員会 委員  
 ●働き方改革調査特別委員会 委員  
 ●選挙区調査特別委員会 委員  
 ●議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討プロジェクト会議 委員

◇皆様のご意見をお聞かせ下さい◇

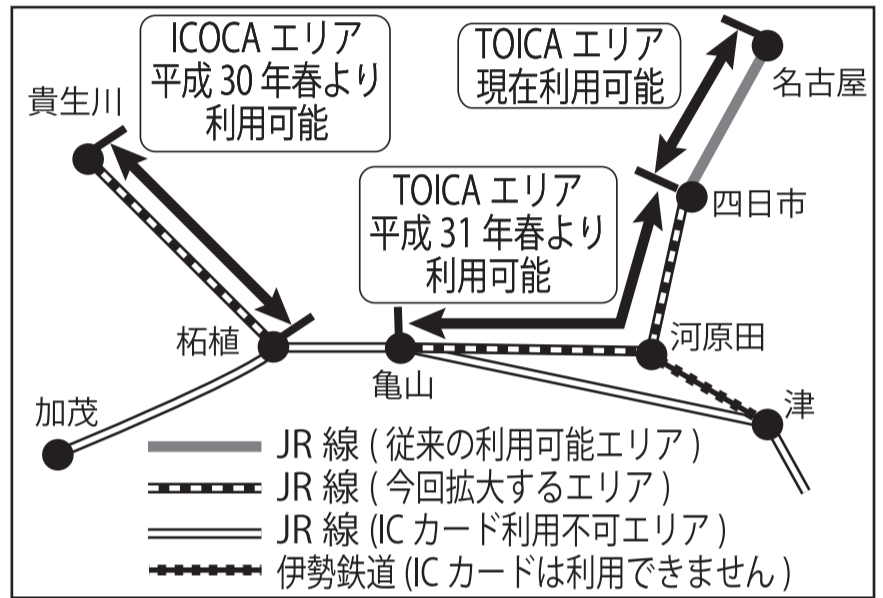
●本会議一般質問(平成29年9月25日)から

①リニア中央新幹線の早期全線開業に向けて

Q.「三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進会議」が新たに結成されて名古屋・大阪間のルートや駅位置の早期確定に向けた活動体制が整い、その一方で交通系ICカードの利用エリアの拡大が決定している(※1)。今後、リニア中央新幹線早期全線開業に向け、また、県内中間駅と主要地方都市、主要観光地などを結ぶ広域交通ネットワークの整備に向け、どう進めていくのか。

A. ターミナル駅の新大阪駅を抱える大阪府が加わり、三府県によるリニア推進体制を新たに構築できたことには大きな意義があった。今後、この体制のもとでJR東海と環境アセスメントに向けた実務的な連携の場を持つなど、早期全線開業をめざして取り組んでいく。また、リニア駅を核とした広域交通ネットワークの構築は地域づくりの重要な要素と認識しており、JR東海に交通結節性の高い場所への中間駅設置を求めるとともに、国に対しても在来線との接続など交通アクセス向上への支援を要望している。

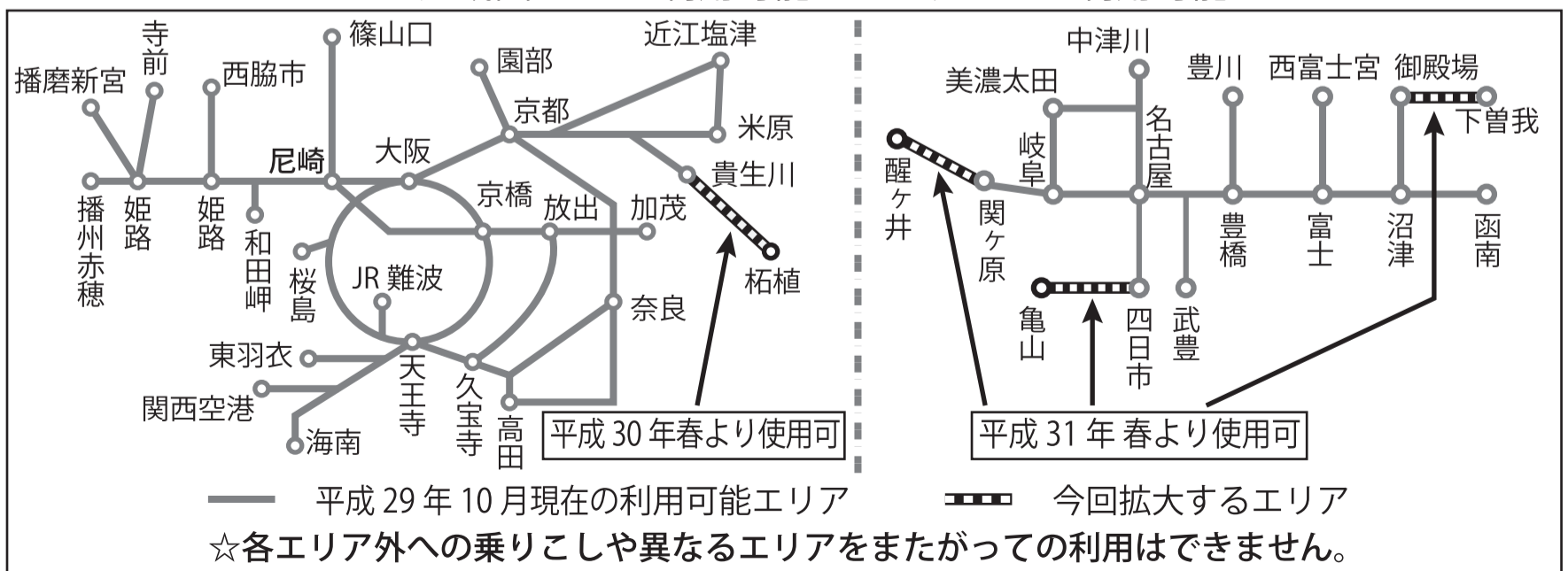
亀山周辺の JR における交通系 IC カード利用可能状況(※1)



⇒ 今後の連携取組方針

- 「リニア中央新幹線東海三県一市連絡会議」を軸とした取組
  - リニア中央新幹線の東京・名古屋間整備に関する進捗や課題などの共有を継続して進める。
  - 中部圏の交通ネットワークのあり方検討やリニア駅を核とした圏域づくりに関する具体の連携方策等を検討する。
  - 環境影響評価調査や土砂処分場所の確保等に対する沿線自治体の協力実績など、今後、名古屋一大阪間の早期着工、工期短縮に資する提案を三府県がJR東海や国等を行うための情報収集に取り組む。
- 「三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進会議」を軸とした取組
  - 平成29年9月11日開催の決起大会に基づき、JR東海や国等への要望活動など、建設促進に向け、さらなる働きかけを行う。
  - 今年度の国の「骨太の方針」で示された“建設主体の全線の駅・ルートの公表に向けた連携・協力”について、国に対し、沿線自治体の三府県とも連携して取組を進めるよう求めて行く。
  - 環境影響評価調査や建設工事等への速やかな着手に資する現実的な提案を三府県が連携して出していけるよう、JR東海と実務レベルでの意見交換の場を設け、課題の共有を図るなどの取組を進める。

JR における近畿圏 ICOCA 利用可能エリア、TOICA 利用可能エリア



②「県民力でつくる 犯罪や交通事故のない、安全で安心な三重」をめざして